

岡崎町政、2期目が始動

流れを止めず飛躍する町に

——1期目を振り返って

このたび、令和4年9月4日に執行されました町長選挙におきまして、引き続き2期目の町政の舵取りを担わせていただくこととなりました。

改めてその責任の重大さに身の引き締まる思いであるとともに、町民の皆様から寄せられた信頼と期待をしっかりと受け止め、全力で職務に取り組みたい所存であります。

1期目の4年間を顧みますと、就任当初は事件により失われた町政の信頼回復のために、まずは入札制度の見直しに着手し、透明性と公平性、公正性が確保される制度に改めることに努めました。

また同時に、喫緊の課題として掲げていた「くらて病院の移転替え」と「庁舎等建設」について取り組んでまいりました。令和2年1月には、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に感染拡大してまいりました。

本町では、さまざまな独自事業に取り組んでまいりましたが、本来の町の事業を中止せざるを得ない状況になり、町民の皆様へ十分な行政サービスをお届けできなかったことを残念に思う1期目でもありました。

——これからの4年間。町長の見据える課題と展望

2期目の4年間においても、未だ終息が見通せない新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、アメリカと日本との金利格差による急激な円安などさまざまな要因での物価高騰により、国内外の経済情勢は、引き続き厳しい状況が想定されています。

このような情勢の中で、感染症対策や経済対策を引き続き講じつつ、本町としての課題である新庁舎等の移転替えをはじめ、博物館別館（石炭資料展示場等）を整備・建設し、さらに子どもたちの教育環境を整備するための小学校統合事業、そして人口減少対策などに取り組んでいかなければなりません。

また、町民の誰一人も取り残されることなくデジタル技術を活用した行政サービス等の効果を享受できるように、デジタル社会の構築に取り組むことで、事務の効率化が図れる自治体を目指します。

これからの4年間は、将来の鞍手町を形づくる上で大変重

要な時期であると考えております。

私の町政に対する情熱は、4年前に就任した時と変わることはありません。

鞍手町の更なる発展のため、これまでの経験を生かしながら「流れを止めず飛躍する町に」することを目指し、町民の皆様と共に知恵と力を出し合いながら、社会情勢の変化に順応した活力ある明るい未来に続く持続可能なまちづくりに邁進してまいりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。2期目の就任のごあいさつとさせていただきます。



▲9月9日、町長就任式の様子

PROFILE

岡崎邦博 (おかざきくにひろ)

中山在住、67歳。大分大学経済学部卒業後、証券会社勤務を経て平成元年8月に「くらて整骨院」を開業。平成11年4月から5期連続で鞍手町議会議員を務め、平成30年9月に鞍手町長選挙に初当選。「流れを止めずに飛躍する町」を公約に掲げ、今回2期目当選。

